

おなじだね

釜利谷小学校に かよっていること

一日が24時間 ということ

ほめられたら ちよつとてれくさいこと

楽しかったら えがおになること

たすけられたら うれしくなること

かなしかったら なみだを流すこと

いじわるされたら かなしくなること

一人ぼっちが さみしいこと

わたしとあなた

いっぱい おなじが あるんだね

でも ぜんぶ おなじ？

ちがうね

すきな べんきようや とくいな うんどう

おおきくなったら やつてみたいこと

はだの 色や かみのけの かんじ

せいの 高さや 声の だしかた

よくへる 色えんびつの色

言われて 苦しくなることばや されて かなしくなること

あなたとわたし

いっぱい ちがいが あるんだね

でも ちがうことは いけない？

すてきだね

なにかを 上から見たり下から見たり かたちが変わって おもしろい

いろいろな声があつまるとうつくしい歌になる

たくさん色で かかれた絵は とてもきれい

おおぜい みんなが集まれば 一人じゃできないことができる

おなじでちがう ちがつておなじ

わたしとあなた あなたとわたし

「おなじ」と「ちがう」が たくさんあるから

とつても すてきに思えるよ

とつても すてきに思えるよ

11月29日(月)、今日は世間的には「1129、いいにくの日」ですが、釜利谷小学校では、「人権」について子どもも、大人も考える日として設定しました。来月の10日が世界人権デー、12月4日～10日が人権週間となります。

上の詩は、今日の朝会で子どもたちに紹介したものです。同じこと、違うことをみんなが認め、それぞれの個性を生かして、みんなが一つにまとまった時に、大きな力を発揮できること。自分のよさを大切にして、友達のよさを認めることが、みんなの幸せにつながることを話しました。

午後は教職員の人権研修、講師の先生をお迎えして、人権といじめについて事例をとおしたり、ディスカッションをしたりしながら学びました。

